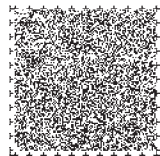


障害者週間の行事の一環として、障害者週間の趣旨にふさわしい
セミナーを各団体が開催します。



- お申し込み・お問い合わせは、各セミナーの主催団体まで直接ご連絡ください。
- 入場は無料です。

2日目 12月6日(日)

1

特定非営利活動法人日本トゥレット協会

▶ <http://tourette-japan.org/>

10:00

TEL:045-315-3288 FAX:045-315-3288 e-mail: info@tourette-japan.org

▼
11:30

チック・トゥレット症を知っていますか? ~正しい理解と支援のために~

不随意運動である音声チックと運動チックを主症状とする「トゥレット症」。自分の意思とは関係なく出現するチック症状で周囲から奇異な目で見られたり、わざとではないかと思われたり、当事者や家族は社会生活の中で様々な困難を抱えています。認知度を上げ、社会の正しい理解と合理的配慮や支援の在り方を参加者とともに考えていきたいと思います。

2

特定非営利活動法人全国言友会連絡協議会

▶ <https://www.zengenren.org/>

12:00

TEL:03-6908-6333 FAX:03-6908-6345 e-mail: info@zengenren.org

▼
13:30

吃音があっても、豊かに生きる -「なおす」のではなく、「共に生きる」ために-

私たち言友会は、吃音を「なおす」のではなく、「吃音があっても、豊かに生きる」という方針を掲げ、これまで半世紀以上を当事者団体・自助団体として歩んできた。この歴史の転換点において、改めて、セルフヘルプの有効性と、吃音と「共に生きる」という選択肢の重要性を明らかにしたい。

3

公益財団法人日本発達障害連盟

▶ <http://www.jlidd.jp/>

14:00

TEL:03-5814-0391 FAX:03-5814-0393 e-mail: info@jlidd.jp

▼
15:30

『感じるから始める障害の理解!』 ~「見て」「体験して」「知って」「感じて」ひろげる~

障害を理解するための疑似体験は様々に行われています。今回のセミナーでは、知的・発達障害にスポットをあてて、見たり、知ったり、感じる事から理解できる体験型の障害理解の機会を提供します。また舞台手話通訳や字幕・音声ガイドなどの工夫を加えて創られたバリアフリー演劇では、概要や制作過程の紹介も行い理解の始まりと広がり伝えます。

障害のある人もない人も共に生きる社会へ

みんなでつくる

共生社会

毎年12月3日~9日は障害者週間です。

